

Injury Alert (傷害速報)類似事例

No.41 抱っこ紐からの転落による頭部外傷の類似事例 1

事例	年齢：0歳1か月 性別：男 体重：6.2kg 身長：62cm	
傷害の種類	転落	
原因対象物	抱っこ紐	
臨床診断名	外傷性くも膜下出血、外傷性頭蓋骨骨折	
発生状況	発生場所	自宅
	周囲の人・状況	自宅の玄関前で、母親は児を抱っこ紐で抱きかかえており、2歳の兄が近くにいた。
	発生年月日・時刻	2015年1月29日 16時00分
	発生時の詳しい様子 と経緯	自宅の玄関前で、母親は児を抱っこ紐で抱き上げていた。鍵を落とし、しゃがんで前かがみになった時に、児が抱っこ紐から転落した。コンクリートの上に頭から落下し、頭頂部を打撲した。近医を受診したのち、当院を紹介された。
治療経過と予後	来院時、両側前頭部にくも膜下出血、骨折線が認められ、入院して、輸液、ケイツ一の投与を行い、経過観察した。経過中、けいれん、意識障害はなく、出血の増悪は認められず、保存的に経過観察し、2月6日に退院した。現時点では後遺症はみられない。発達に関して、近医で経過観察されている。 今回使用されていた抱っこ紐（写真1、2）と、その装着状況（写真3、4）を写真に示した。	



写真 1



写真 2



写真 3

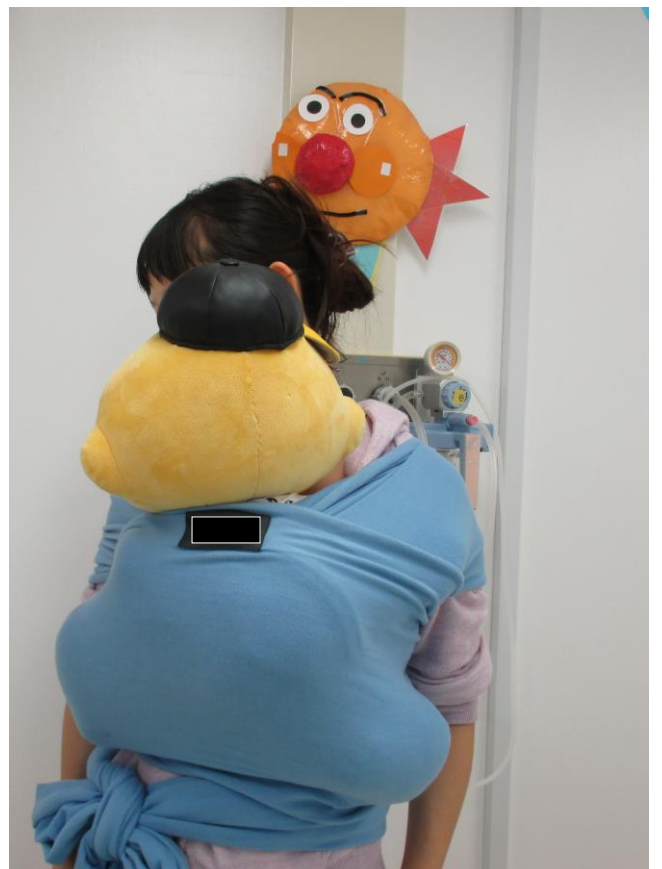


写真 4

Injury Alert (傷害速報) 類似事例

No.41 抱っこ紐からの転落による頭部外傷の類似事例 2 (クーハン)

事例	年齢：2か月 性別：女	
傷害の種類	転落	
原因対象物	クーハン（大きさは38cm×72cm×25cm）、重量約2.5kg	
臨床診断名	頭部打撲、皮下血腫、鼻擦過傷	
医療費	6820円（外来診察料）	
発生状況	発生場所	自宅の駐車場
	周囲の人・状況	児をクーハンに入れて、母はひもを肩にかけていた。
	発生年月日・時刻	2014年6月5日 午後0時25分
	発生時の詳しい様子 と経緯	自宅の駐車場で、児を車から降ろしてクーハンに入れ、母が肩にしょったところ、肩にかけた紐の外側が外れてしまい、クーハンから児が転落した。下はコンクリートであった。児はうつぶせに転落し、足を動かさなかったため、母が救急車を要請して当院を受診した。 普段から自宅駐車場と家のあいだの移動にクーハンを使用していた。
治療経過と予後	来院時、頭部打撲、皮下血腫、鼻擦過傷と診断した。脳神経外科医より頭部CT検査を勧めるも、母が断ったため、頭部外傷後の注意の説明を行い、自宅での経過観察となった。 以前、生後17日に自宅の布団の上（高さ50cm）から転落して当院を受診した既往があったため、虐待の疑いで小児科へコンサルトとなった。 母が持参したクーハンを肩にかけて、肩紐の外側をはずすと中身がすべて落下することを確認した。母は周囲から「クーハンを肩にかけると危ない」と注意されていたが、抱っこひもの装着には時間がかかるためクーハンを使用していた。 今回の事故については故意にしたことではないと判断した。	

Injury Alert (傷害速報)類似事例

No.41 抱っこ紐からの転落による頭部外傷 類似事例 3 (クーハン)

事例	年齢：生後 12 日 性別：男児 体重：3.24 kg 身長：50.2cm	
傷害の種類	転落	
原因対象物	クーハン (生後 4 か月未満程度の乳児を乗せて運べるようにした、手提げ式のかご)	
臨床診断名	頭蓋骨線状骨折	
医療費	242,230 円 (10 割)	
発生状況	発生場所	自宅前の道路
	周囲の人・状況	母親と患児のみ
	発生年月日・時刻	2017 年 9 月 19 日 午後 4 時 0 分
	発生時の詳しい様子 と経緯	身長 150cm の母親がクーハン (図 1) を肩にかけたまま、玄関のドアを開けようとしたところ、クーハンの両ひもが肩から滑り落ちた。クーハンの中に入っていた患児は 90cm 程度の高さから外に投げ出されてコンクリートの地面に転落した (図 2、図 3)。母親は表面が滑らかなシャツを着用していた。
治療経過と予後	<p>2017 年 9 月 19 日午後 4 時に転落した。患児は転落後すぐに啼泣し活気も良かったが、左側頭部が膨隆してきたため、午後 6 時に当院救急センターを受診した。</p> <p>視診にて左側頭部に直径 4cm 程度の膨隆と触診にて骨の歪みを認めた。頭部以外には打撲痕はなく、頭から転落したと思われた。頭部 CT を施行し、皮下血腫及び左頭頂骨骨折と診断した (図 4)。頭蓋内損傷は認めなかった。脳神経外科にコンサルトし、経過観察入院と画像によるフォローアップの方針となった。また来院時に、体温 38.4℃の発熱を認めたため、菌血症の可能性を危惧し熱源精査と抗菌薬投与を開始した。来院 6 時間後には解熱した。</p> <p>9 月 20 日、22 日と頭部エコーを施行し、頭蓋内出血や硬膜下の血腫形成がないことを確認した。入院経過中、患児の活気・哺乳は良好であり、培養検査が陰性であったことを確認して、9 月 23 日に退院とした。</p>	



図 1. クーハンの実物写真。新生児と一緒におもちゃやタオルなども詰め込める構造をしている。



図 2. 事故時の状況を再現しクーハンに肩掛けしている写真。クーハンの添付文書には肩掛けはしないように記載されていたが、紐が長く肩に掛けることが可能である。



図 3. 推測される事故時のイラスト（母親から聞いた受傷状況をもとに投稿者が作成）。

- ① 右肩にクーハンのひもをかけて移動中
- ②③ 右肩からひもが滑り落ちる
- ④ ひもが右上肢から離れ、患児が投げ出される
- ⑤ 患児が地面に転落



図 4. 頭蓋骨の 3D-CT。左頭頂骨骨折を認める。